

城南家保ニュース Vol.30-3

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

メールアドレス jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/kahojounan>



平成30年度 球磨・芦北地域家畜衛生推進会議 開催！

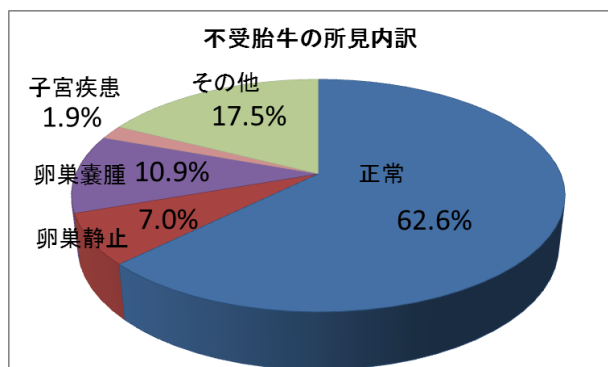
平成30年5月23日に球磨・芦北地域振興局、管内市町村、農業団体、県獣医師会人吉球磨支部、人工授精師協会に参集して頂き、昨年度の事業実績及び本年度の事業計画について、確認及び協力をお願いしました。具体的には地域衛生管理体制整備事業に係る肉用牛繁殖巡回指導成績、飼養衛生管理基準遵守結果、国内外の伝染病発生情報、管内で発生した牛ボツリ又ス症、地方病性牛白血病の清浄化に向けた取組等について説明を行いました。今後とも家畜伝染病予防の推進及び畜産農家における生産性向上のため、事業実施への御協力をお願いします。



平成29年度肉用牛繁殖巡回指導成績

当所が実施した平成29年度肉用牛繁殖農家巡回の実績について、結果を報告します。

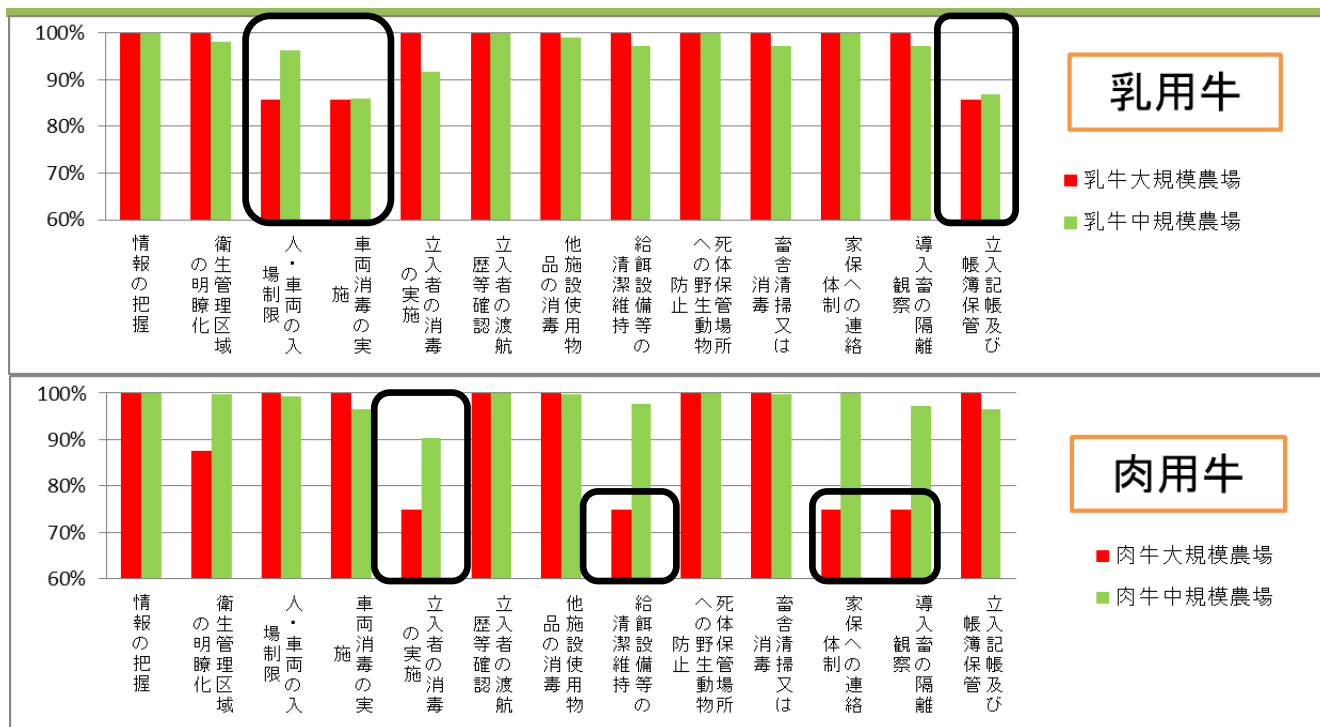
巡回は2市2町2村で、延べ検査頭数は1125頭（内訳；授精牛998頭、未授精牛127頭）でした。肉用牛の1年1産は、初回授精日は分娩後60日以内、再受胎日数は分娩後80日を指標としています。今回の成績は、授精牛の分娩後初回授精日は82日±63日（最短8日、最長629日、596頭）、再受胎日数は113日±82日（最短27日、最長689日、474頭）、受胎率は73.7%、1年1産達成率は29.2%でした。これは、最終分娩日や初回授精日の検診台帳の記入漏れや記録漏れがあり、詳細な分析ができない個体が散見されるため、これも原因の1つと考えられます。



分娩後40日前後の検診（フレッシュチェック）の受検割合は約10%と低く、フレッシュチェックを行うことで、卵巣静止や子宮蓄膿症等の繁殖障害牛を早期摘発し、早期治療による改善が図られます。

今後とも、検診台帳記入の徹底及びフレッシュチェック頭数の増加に御協力をお願いします。

平成29年度家保巡回飼養衛生管理基準遵守状況（牛）について



平成28年度と比較して、各項目における遵守率に顕著な低下は見られませんでした。部外者の入場制限、衛生管理区域入口の車両消毒（石灰散布等）、立入者の消毒、記帳の遵守率がやや低下していました。肉用牛の大規模農場で畜舎入口の消毒実施（踏込又は石灰）や飼槽・ウォーターカップなどの清掃の遵守ができていない農場もありました。

近隣諸国では依然として、口蹄疫や鳥インフルエンザなどの海外悪性伝染病が発生しています。日頃より、家畜の伝染性疾病の発生予防を意識し、飼養衛生管理基準の遵守（病原体侵入防止対策）をよろしくお願いいたします。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地（国）	畜種	発生日
高病原性鳥インフルエンザ	H5N2	台湾(7件)	肉用あひる・肉用がん・肉用がちょう・地鶏	平成30年4月10日～5月9日
	H7N9	中国(1件)	採卵鶏	平成30年4月25日
口蹄疫	O型	中国(1件)	牛・山羊	平成30年5月4日
アフリカ豚コレラ		モルドバ(2件)	豚	平成30年4月23日～5月7日
		ウクライナ(3件)	豚	平成30年5月2日～5月7日

平成30年6月1日現在

編集後記 (K.Y)

城南家保に赴任してから2か月が経ち、雨の日以外は、往路は上り坂、復路は下り坂の自転車通勤に変わりました。また、振興局や保健所の方々と交流の場が増え、毎週バトミントンやミニバレーボールをして頻りに体を動かす機会も増えました。県南地域は初めての赴任ですが、仕事でもプライベートでも、積極的に地域に馴染んでいきたいと思っております！